

フォトキナ - イメージング アンリミテッド

会期：2018年9月26-29日

Koelnmesse GmbH シニアバイスプレジデント クリストフ・ヴェルナー

フォトキナの新たな位置付けを行うにあたり、業界の代表者、パートナー、専門家、皆様のようなジャーナリストおよび来場者の方々から多くの意見を伺いました。フォトキナをより包括的、よりバーチャルで独創的なものにしたいという私どもの思いを、メッセ会場のみならず、あらゆる交流の機会において確実に反映させたかったのです。

その努力が実りました。

これら3つの要素全てが反映されているのが、ホール5.1のフォトキナ・イメージング Lab と DIGILITY です。デジタル化と新しい技術が、以前にも増してその存在感を高めています。

フォトキナと DIGILITY が同じ週に同時開催されることにより、ケルンは数日間、デジタルリアリティーの中心地となります。拡張現実、仮想現実、AI、360度イメージングあるいはCG イメージングなどの技術が様々な視点から紹介されます。DIGILITY も、イメージング Lab も、新しい技術とサービスに関連する様々な分野から著名な専門家を招くことにしています。

DIGILITY では、デジタルリアリティーのB2B イベントとしてデジタル技術がもつ産業への適用可能性と、その展望を分析します。長期的には、DIGILITY はデジタルリアリティーの国際的なイノベーションプラットフォームとしてその地位を確立していくと確信しています。すでに、私達の未来の生活や仕事の方向性を示すひとつの指標となっています。デジタルリアリティー技術は、私達の日常生活と仕事場にますます浸透しつつあり、その勢いは今後さらに増大するであろうと予想されています。

それぞれ独立したイベントでありながら、相互に利することができるのが、フォトキナと DIGILITY なのです。フォトキナで紹介する、世界のイメージング業界のマーケットリーダーによるソリューションと製品は、デジタルリアリティーを応用したバリューチェーンの重要な構成要素です。従って、DIGILITY は最高のビジネスマッチングの機会であり、大きなビジネスポテンシャルをもたらします。一方で、イメージング業界は、その中核を成す分野以外でのポテンシャルを模索しており、デジタルリアリティーを主要な成長分野のひとつとして認識しています。

イメージング Lab も DIGILITY も、独創的なソリューションのための、新しい、より広範なプラットフォームです。ここでは、ヨーロッパ内外のスタートアップがもつ素晴らしいアイデアを知ることができます。イメージング業界は、未来のビジネスポテンシャルをたくさん秘めています。テクノロジーリーダーや、とりわけ中小企業にとって、斬新なアイデアに触れることは、デジタル分野で前進していくうえで大いに役立つことでしょう。

より包括的に、よりバーチャルで独創的になるためには、多様なターゲットグループそれぞれに合わせたイベントと交流

の機会を提供していくことも重要であると考えます。

モバイル端末での撮影、作品共有および発表の場としての SNS、イメージング技術が私達の日常生活をいかに向上させるのか、そして、私達がイメージング技術とどのように関わっていくのか、といった現在および未来のテーマには、専門ビジターもエンドユーザーも関心があるでしょう。専門ビジターの方々は、イメージング分野における新しい競争をもたらすビジネスチャンス、および、フォトキナと DIGILITY で紹介される技術的を絞って集中することができるでしょう。ターゲットグループによって最も違いが出るのは、イベントに対する期待です。インタラクティブな機会を設けて、エンターテインメントの要素を持たせつつ、すべての来場者の方々にご満足いただけるようなしっかりとした内容で技術紹介を行ってまいります。

ホール 1 の Olympus Perspective Playground は、まさにこの見事な例です。このイベントは、フォトキナ 2018 および 2019 の会期中に開催されます。毎晩 11 時までオープンしていますので、来場者の皆様にとって、ゆっくり時間をかけてインスピレーションを得る機会となると思います。

また、来場者グループごとに、Professionals (プロフェッショナル)、Motion (モーション)、Communities (コミュニティ) という個別のステージプログラムをご用意いたしました。さらに踏み込んで、ウェディングゾーン、モバイルイメージングラウンジ、小売業者専用のエリアも設ける予定です。

しかし私どもの願いは、皆様に、実際にフォトキナ会場にお越しいただく前から、フォトキナを体験していただきたいということです。

そのため、ウェブサイトも刷新いたしました。情報とインスピレーションを一層充実させました。フォトキナのメインテーマに合わせて、画像を贅沢に配したサイトになっています。より直感的に利用できるようになりました。ニュースレターおよびアプリも、よりモダンな体裁に変更しました。マッチメイキング 365 やリードトラッキングなどのツールによって、出展者も専門ビジターも、フォトキナの 4 日間を最大限有効にお使いいただけるようになります。

フォトキナは、出展者にとっても重要なコミュニケーションプラットフォームであることから、イベント発信の仕方を常に改善しています。

私どもはここ数年、SNS を積極的に活用してきました。SNS は、ニュースやハイライトを伝えるだけではなく、来場者の方々と連絡を取り合う手段としても優れた手段です。2016 年以降、ツイッター、フェイスブック、インスタグラムでの活動に注力し、それぞれ個別にコンテンツを作ってまいりました。ツイッターには 13,000 以上のフォロワーがいます。フェイスブックは、12 万人のイメージング愛好家がフォローしています。

これらの SNS のなかでもビジュアル中心のインスタグラムは、これまでに 14,000 人の方々から支持されています。私達はさらに次のレベルを目指しています。6 月の初めから、フォトキナ・インスタグラムのクリエイティブは、berlinstagram の Michael Schulz (ミヒャエル・シュルツ) が担当しています。マガジン形式のものを始めました。主な構成要素のひとつは、様々なインスタグラム・サブコミュニティから活躍中の写真家のポートレートを集めたシリー

ズになる予定です。彼らの作品、スタイル、装備、写真との関わり方を紹介してまいります。写真画像の背後にあるパーソナリティーを表現していきたいと思っています。紹介する写真家にはフォトキナ会期中にケルンにお越しいただき、コミュニティーステージでトークをしていただく予定です。ワークショップを開催し、それぞれの仕事についてお話しいただくことになっています。マーケティングとプレゼンテーションにおける SNS の重要性と、写真に対して SNS が今日もつ影響力を理解しているからこそ、インスタグラムを大幅に刷新することにしたのです。繰り返しになりますが、フォトキナに若い世代の興味を惹きつけるためには、インスタグラムが何よりも優れた手段なのです。

ご来場の皆様、フォトキナのすべてを体験していただくには、4 日間では短すぎるでしょう。特に専門ビジターの方々は、ケルン滞在を有効に過ごしたいと願っていらっしゃるでしょう。そのため、Product Worlds を合理的にして、会場をより分かり易くいたしました。出展者を、それぞれのコアビジネスに応じて、CAPTURING UNLIMITED、LIGHTING UNLIMITED、PRESENTING UNLIMITED、CREATING UNLIMITED、DISCOVERING UNLIMITED というテーマ別に配置いたします。

ケルン滞在期間が限られたものであっても、ケルンでの時間をお楽しみいただき、フォトキナの特別な雰囲気味わっていただけるよう願っています。

ご清聴ありがとうございました！